

- 国土交通省では、都市公園や道路において倒木等における事故が発生している状況を踏まえ、全国の倒木・落枝による人身・物損事故や樹木点検に関する調査を行いました。今般、調査結果を以下のとおり、取りまとめましたのでお知らせします。
- 引き続き、公園管理者、道路管理者による樹木の安全確保の取組が一層進むよう、支援してまいります。また、都市公園、道路ともに管理者によって点検の実施状況が異なることから、今後の点検のあり方について検討してまいります。

【調査内容】

令和3年4月1日～令和6年11月7日（調査時点）に発生した樹木の倒木等の事故発生状況
及び樹木点検の実施状況

【調査対象】

- ①全国の都市公園
- ②国・都道府県・自治体が管理する道路

【結果概要】

事故・障害発生件数

- ①都市公園 計931件（うち、人身事故77件）
 - ・樹種上位は、コナラ、サクラ類、ケヤキ
 - ・事故につながったものは倒木が多い
 - ・コナラ類ではナラ枯れ被害樹木の倒木も多く見られた
- ②道路 計801件（うち、人身事故33件）
 - ・樹種上位は、ケヤキ、サクラ類、アカマツ・クロマツ類
 - ・事故につながったものは落枝、次いで倒木が多い
 - ・倒木等の要因は、台風・強風、腐朽・病害によるものが多い